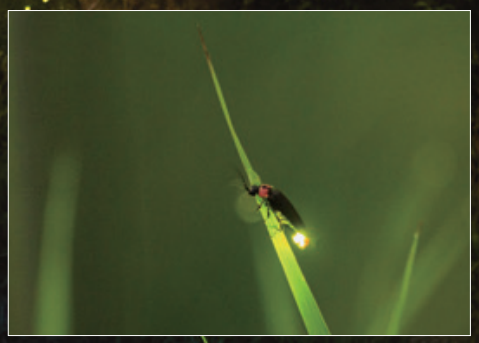
水に感謝を

清らかな水を求める「ホタル」の鑑賞ができることは岡垣町の魅力のひとつ。写真は高倉神社の側を流れる汐入川で舞う様子です。



水を敬い、海を敬い

高倉神社の祭神は「水神」とされ、「海神」の使いとして大切にされてきたウミガメは三里松原海岸での上陸が確認されています。

また、岡垣町には「海老津」や「松原」「内浦」「三吉（葦）」「波津」など入り江や港・船着き場など海にまつわる地名も多いことも、水に縁があることをうかがわせます。

電車を降りて1分！「ホタル鑑賞」

町内では、初夏に清流に集まる数多くのホタルを見ることができます。

JR海老津駅のすぐ下を流れる矢矧川では、電車を降りて1分以内にホタルの鑑賞ができるスポットがあることが、町の魅力のひとつとなっています。毎年5月に開催されている「えびつほたるの夕べ（ほたる鑑賞会）」は、町内外から多くの方々が集まっています。

また、高倉神社の側を流れる汐入川では、神社の傍らにきれいな光を放つ多くのホタルに出会うことができます。

北斗の水くみ（波津海岸）

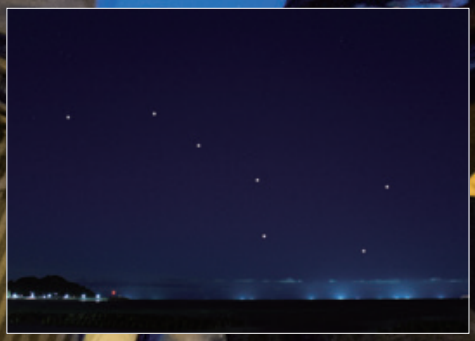
岡垣町の海岸では、ひしゃく状の北斗七星があたかも水平線の水をくんでいるような姿を見ることができます。

この光景は「北斗の水くみ」といい、北緯33度から34度に

高倉神社

星に願いを

星の柄杓（ひしゃく）が、海の水をくんでいくかのような動きを見せる「北斗の水くみ」。回りには流れ星も。その一瞬に願いを込めます。



位置し、北に水平線がある場所でしか見ることができず、岡垣町の海岸はその条件にかなった、世界でも数少ない観望ポイントです。観望におすすめの時期は9月から11月ごろです。

令和5年～6年度には「北斗七星」をキーに、スマホゲーム「北斗の拳 LEGENDS ReVIVE」とのコラボ企画を実施。北斗の拳ファンをはじめ、多くの人が岡垣町を訪れました。

「うみがめ」がかえってくる三里松原海岸（海がめもかえる町）

長い海岸線を有する岡垣町では、古くからうみがめの上陸が確認され、平成4年に、初めて「アカウミガメ」の産卵を確認しています。

以後は、うみがめ調査を開始し、これまで多くの産卵・ふ化を確認しています。うみがめの生息は、海辺の環境の指標ともいわれており、町民・事業者と行政が協働で「ラブアース・クリーンアップ」の活動を通じて海岸の環境を守っています。

近年、環境等の変化からか、平成27年以降確認が途絶えていました。しかし、令和5年6月に、8年ぶりの上陸（通算20回目）を確認しています。

アカウミガメ